

JICA(独立行政法人 国際協力機構)が行っている研修の一環で、日本の様々な自然災害(地震、地すべり、風水害等)の事例を通して、災害の抑止・軽減そして復旧の観点から災害に強いインフラ開発について学ぶため、世界各国から来日されている防災関係者が六甲砂防事務所を来訪されました。

概要

日時：平成30年6月8日(金)
13:30～17:00

場所：六甲砂防事務所、渦ヶ森・焼ヶ原

人数：10名(うち、通訳・随員3名)

ガイアナ・ザンビア・パプアニューギニア・
フィリピン・ブラジル・ホンジュラス・東ティモール

○事業概要説明と土石流模型実験

六甲山地の歴史や過去の土砂災害、砂防事業の取り組みなどの説明を行った後、土石流模型実験装置にて砂防堰堤の働きを実感して頂きました。模型実験では熱心に動画を撮影したり、堰堤上部を構造物で保護したりしないのか？流木は堰堤で捕捉することができるのか？など、様々な質問がなされました。

○現地視察

座学にて砂防の知識を身につけて頂いた後、現地視察を行いました。

渦ヶ森においてはグリーンベルト整備の見本林を見学。登山道沿いの各所に整備箇所があることから、ハイキング気分浸れたのか、思っていた視察と違い大変おもしろかったとの感想も。

堰堤では、阪神淡路大震災直後に緊急的に施工した住宅に面する焼ヶ原堰堤を視察。土砂がたまった場合、除石を行うのか？といった質問がありました。

最後に、代表者から座学だけでなく、現地視察をさせて頂き、土砂災害対策についてよく理解できた。とのお礼がありました。



事業概要説明の様子



土石流模型実験



焼ヶ原堰堤

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15 TEL：078-851-0535

